

# 平成27年3月期 決算説明会

平成27年6月10日



イメージ情報開発株式会社

東証JASDAQ：証券コード 3803

- I グループ概要**
- II 平成27年3月期 決算概要**
- III 中期経営計画**

【設立】	1975年（昭和50年）10月
【代表者】	代表取締役社長 代永 衛
【資本金】	4億6,705万円
【事業内容】	情報システムの企画・開発、保守・管理運営
【本社所在地】	東京都千代田区猿楽町 2-4-11 犬塚ビル
【子会社】	イクオス株式会社/株式会社アンダース（2015年4月株式会社インスパイアから名称変更）
【沿革】	昭和50年10月 会社設立 昭和51年4月 JTBコンピュータ&イメージデータの複合処理事業を開始 昭和55年12月 本社事務所を東京都港区新橋に移転 昭和59年4月 システムインテグレーション事業に進出 平成16年4月 セキュリティサービス販売を開始 平成17年9月 インターネットデータセンター開設 平成18年4月 大阪証券取引所(現東京証券取引所)JASDAQへ株式上場 平成19年5月 本社事務所を東京都港区芝大門に移転 平成21年7月 NSセミコン株式会社を子会社化 平成21年12月 イクオス株式会社設立 平成23年7月 本社事務所を東京都千代田区猿楽町に移転 平成24年9月 株式会社インスパイアを子会社化 平成24年12月 NSセミコン株式会社を子会社から除外 平成25年8月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化 平成25年10月 株式を200分割 平成27年3月 株式会社北栄を持分法適用関連会社化から除外

# イメージ情報開発グループについて



「システム設計・構築を基盤にマーケティング機能を付加した総合サービスによる企業ビジネスの支援」、  
「自社製品の販売・サービス提供」、「特異性のある、子会社の育成、他企業とのシナジー」で構成します。

砂・砂利・砕石等の採取及び販売  
その他の建築材料の卸売業

メディカル&アンチ・エイジングモール運営

マーケティングコンサル  
ECサイト構築、運営

北栄

イクオス

アンダース

新たな提携

特異性のある企業・子会社との  
アライアンスによる発展的なグループ経営

ITを駆使したマーケティングソリューションにより  
企業ビジネスの支援・新規事業の推進

コンサルティング、設計・開発  
運用保守、BPO、商品販売

Core Business

企画・開発・販売

IT関連機器販売  
ソフトウェアパッケージ  
商品販売

特定業種向け  
ソフトウェア

中堅・中小規模企業、  
特定マーケット向け  
ソフトウェア・パッケージ  
Webデザイン

ネットワーク  
セキュリティ

ハミングハズ社の最新  
セキュリティーシステム  
を中心に拡販・運用

地域活性化  
サービス

地方自治体、商工会議所、商店街等との提携による  
地域活性化サービス（決済、ポイント、Web等）

ECサイト運営

決済  
収納代行  
サービス

商店街モールの運営

## ■ 株式会社北栄を持分法適用関連会社から除外した理由

株式会社北栄は、平成**27**年**5**月から那覇空港第2滑走路増設工事に伴う海砂供給を開始しています。現在は**STEP1**の護岸工事を行っていますが、終了した工区から**STEP2**の埋立工事に移ります。**STEP2**では**STEP1**以上の大量の海砂が必要とされています。

当該海砂を沖縄県以外から採取・運搬することは、コストと沖縄県の自然環境保護の観点から問題があり、北栄社の対応が期待されています。

しかし、現在北栄社の所有する船舶は**1**隻のみで、沖縄で開始が予定されている別の大型工事を含めての対応を行うためには、船舶の増設は必須となっています。

本船舶増設資金調達において、沖縄県内公的金融機関からの支援を受けるにあたって、沖縄県産業振興の目的のための支援であることから、当社の連結対象会社からの除外を条件とされ、船舶増設が沖縄県並びに当社及び北栄社の今後の発展に繋がることと判断し、当社の北栄社の保有株式の一部を平成**27**年**3**月**30**日に譲渡し、持分法適用関連会社から除外したものです。

- I グループ概要
- II 平成27年3月期 決算概要
- III 中期経営計画

【単位：百万円】

	平成26年3月期 年度末実績	平成27年3月期 年度末実績	対前期比	
			増減	増減率 (%)
資産合計	978	921	△56	△ 5.8
流動資産	491	606	114	23.2
固定資産	486	315	△170	△35.2
負債合計	338	327	△11	△3.3
流動負債	213	202	△11	△5.4
固定負債	124	124	0	0.3
純資産合計	639	594	△45	△ 7.1
負債純資産合計	978	921	△56	△ 5.8

- ✓ 流動資産：現預金 39百万円減、短期貸付金 162百万円増
- ✓ 固定資産：長期貸付金 99百万円減、投資有価証券 23百万円減
- ✓ 流動負債：未払法人税等 11百万円減、短期借入金 4百万円増
- ✓ 固定負債：退職給付に係る負債 13百万円増、長期借入金 5百万円減
- ✓ 純資産：利益剰余金 35百万円減

【単位：百万円】

	平成26年3月期	平成27年3月期	対前期比	
	実績	実績	増減	増減率 (%)
売上高	883	839	△44	△5.0
売上総利益	256	186	△69	△27.2
販管費	238	278	40	17.1
営業利益	18	△92	△110	—
経常利益	4	△178	△183	—
当期純利益	12	△76	△89	—

- ✓ 売上高：消費税引上げ前駆込受注により、コンサルティング/設計/構築分野57百万円減、商品販売16百万円増、他は堅調
- ✓ 経常損失/当期純損失：売上原価率上昇、持分法による投資損失79百万円を計上  
特別利益として、関係会社株式売却益61百万円、投資有価証券売却益11百万円、受取和解金28百万円計上



## ■ 当期連結業績

◎ 売上高 839百万円(前期:883百万円)

(単位:百万円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
平成26年3月期	413	207	77	185	883
平成27年3月期	355	199	94	189	839
前期比	86.1%	96.1%	121.6%	102.3%	95.0%

コンサルティング/設計/構築、運用/保守が減少、商品販売増加、他は堅調

◎ 経常損失 178百万円(前年同期:経常利益 4百万円)

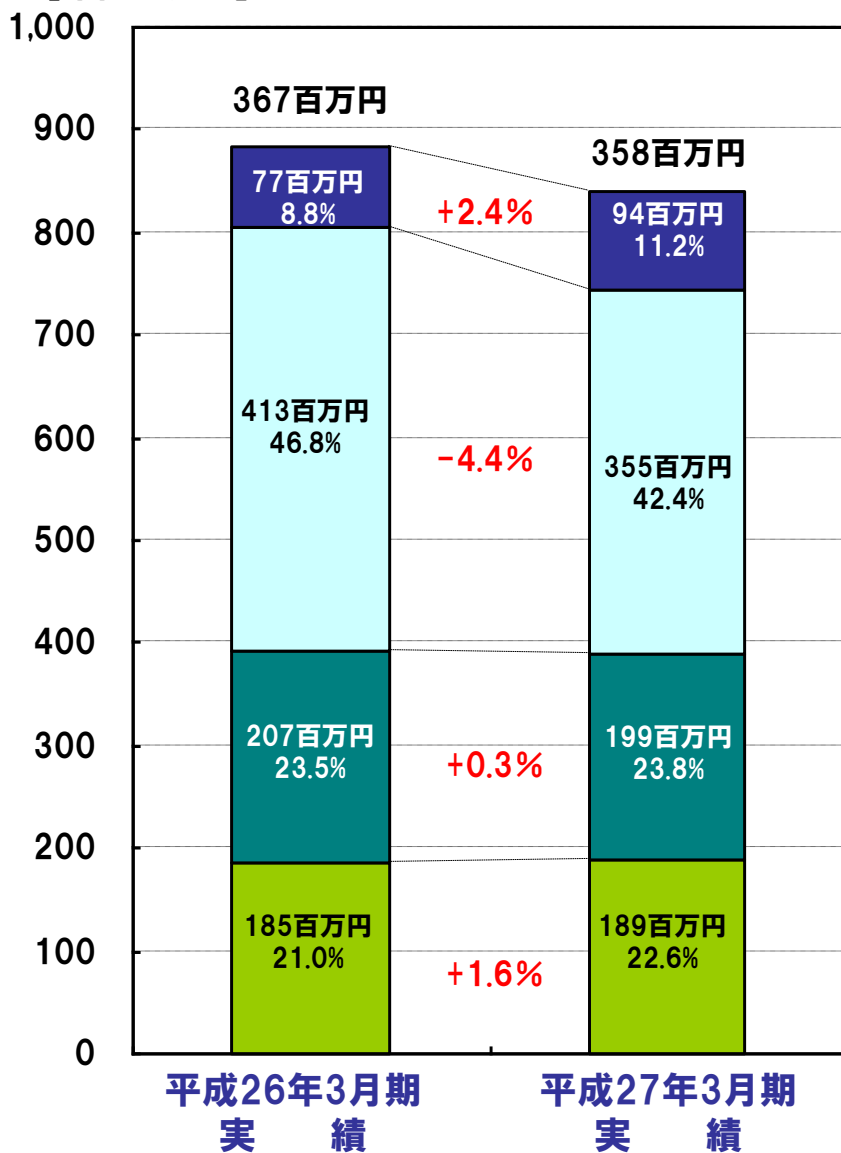
◎ 当期純損失 76百万円(前年同期:純利益 12百万円)

売上原価率上昇、持分法による投資損失を計上、特別利益に係る会社株式売却益、投資有価証券売却益、受取和解金を計上

# 売上構成【連結】



【単位:百万円】



## 商品販売

化粧品販売事業が寄与

## コンサルティング/設計/構築

前期末の消費税駆け込み需要による減少

## 運用/保守

やや減少も堅調に推移

## BPO/サービス

商工会議所ならびに地域商店街等向けクレジット決済サービスの取扱い、デジタルサインページによる地域活性化サービスの新規受注で堅調

# キャッシュフロー【連結】



【単位：百万円】

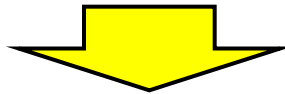
	平成26年3月期	平成27年3月期	対前期比
	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュフロー	△ 100	△ 38	61
投資活動によるキャッシュフロー	△ 35	△ 23	12
財務活動によるキャッシュフロー	58	2	△56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 77	△ 59	17
現金及び現金同等物の期末残高	89	30	△59

✓ 営業活動CF：税金等調整前当期純損失	79百万円
✓ 投資活動CF：貸付による支出	123百万円
投資有価証券売却による収入	47百万円
✓ 財務活動CF：借入による収入	114百万円
借入金の返済による支出	117百万円

- I グループ概要
- II 平成27年3月期 決算概要
- III 中期経営計画



**ネットワーク社会に対応するために、ITを活用して企業モデルの変革に取り組む企業の情報戦略立案～情報システムの運用・管理までを一環してサポートします。**

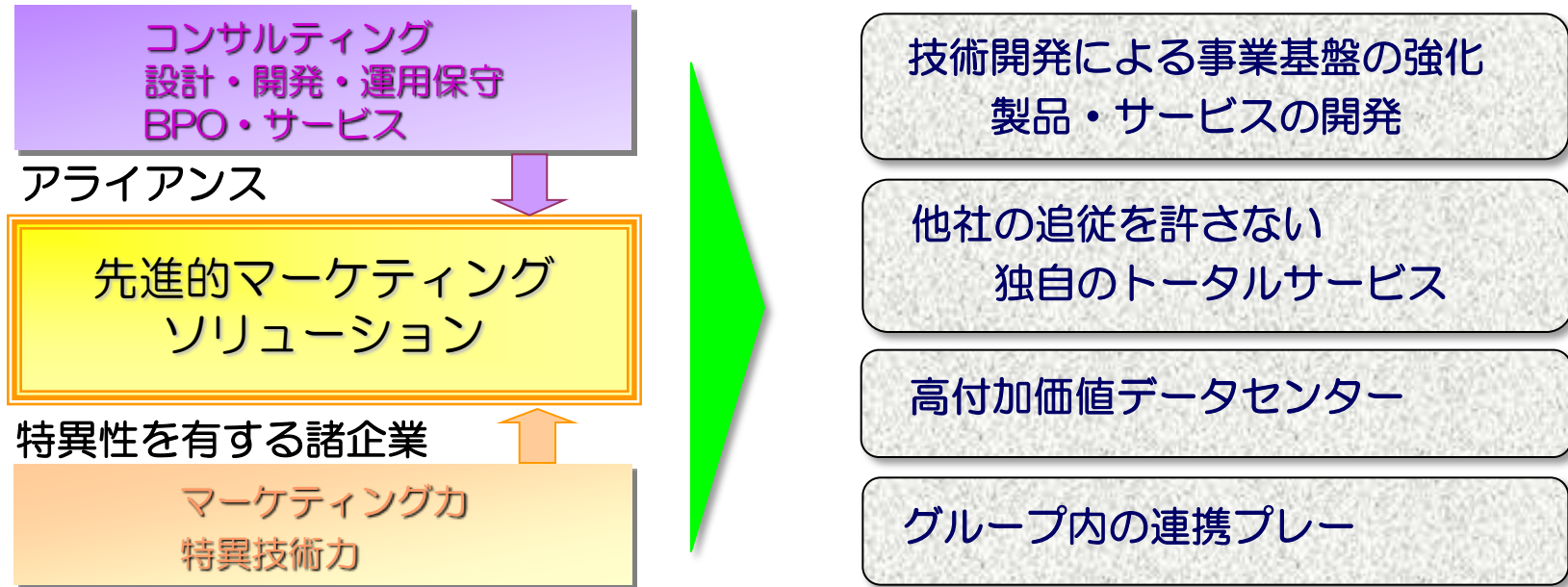


**当社グループは、「先進的マーケティングソリューションとそれを支えるIT機能をもって、変革を求める企業の経営を支援する」という理念のもと、子会社アンダースの体制を整備し、グループ全体のマーケティング機能強化に向けた取り組みを推進しております。**

# 独創的ビジネスモデルで時代の変化に対応

- (1) 変動の激しい現在の市場動向にスピーディーな対応を求め特異性を有する諸企業とのアライアンスを実施する。
- (2) 時代の要請に沿ったビジネスモデルを創出し、他社の追従を許さない独自のトータルサービス体制を確立する。
- (3) 短期的には本年度の黒字化を目指し、中期的には利益を飛躍的に伸長させる。  
取組内容：コンサルティング収入計上加速 等

## 当社のIT総合サービス



# 平成28年3月期の通期業績予想【連結】



(単位：百万円)

	平成27年3月期 (実績)	平成28年3月期 通期予想			
		上期	下期	通期	増減率(%)
売上高	839	693	709	1,402	67.1
営業利益	△92	33	108	141	—
経常利益	△178	33	168	141	—
当期純利益	△76	32	82	114	—

- 既存大手取引先との大型案件受注獲得と北栄社との業務提携契約による大幅な売上高の拡大
- 新規事業の立上げ
  - ・ アンダース社の有料ECグルメサイト
  - ・ アンダース社、昭文社及びシャープとの提携による「インバウンドビジネス」
  - ・ 免税店システム 等



## コンサルティング/設計/構築

- 北栄社の業績拡大に伴うコンサル売上
- 大手取引先からの受注は現状維持の見込み
- パッケージ商品のカスタマイズ受注の推進
- 売上原価率上昇の歯止め

## 運用/保守

- システム構築後の保守業務受託
- ECサイトメンテナンス業務の維持、拡大

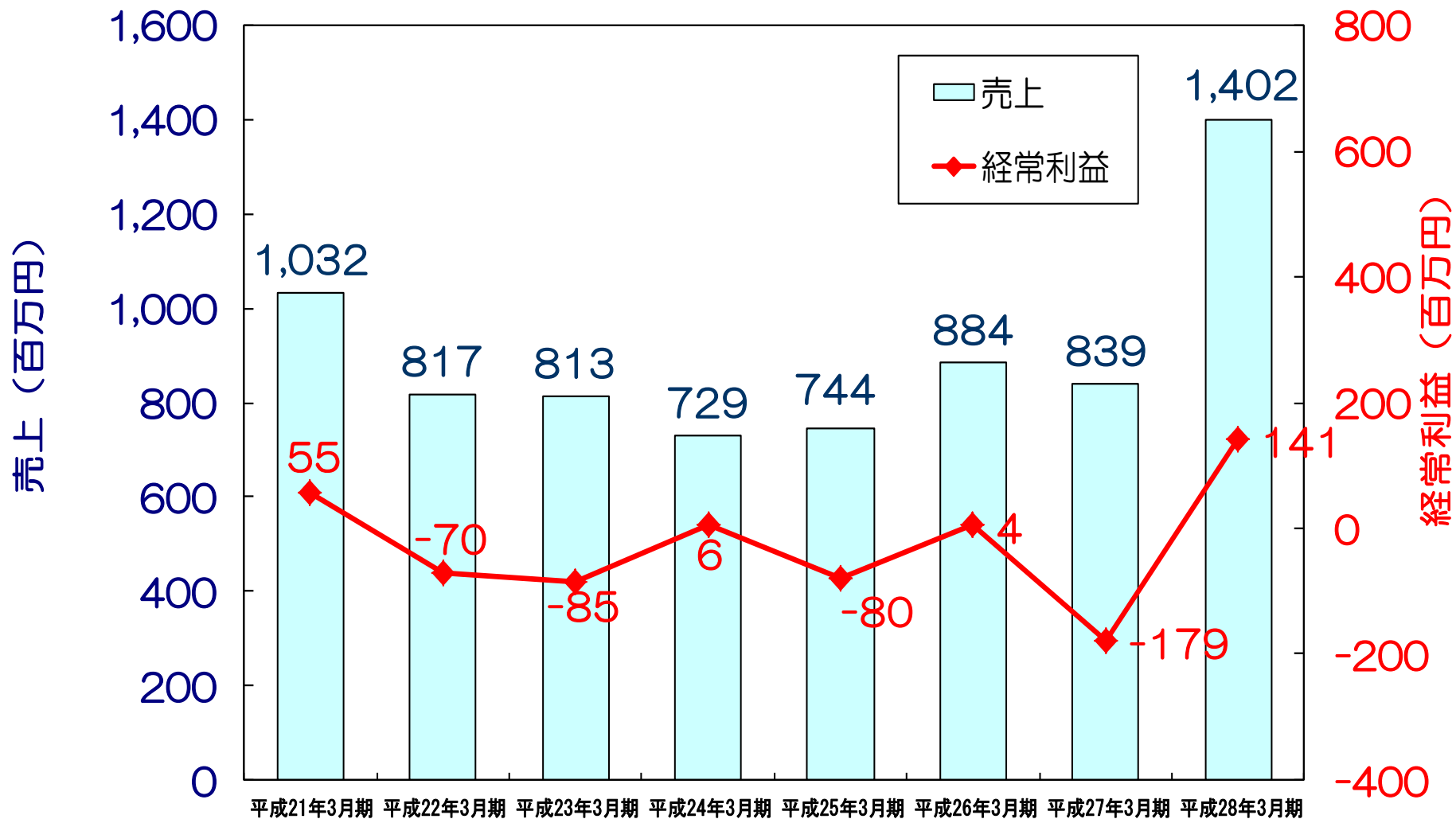
## 商品販売

- 既存大手取引先の大型機器入替受注済
- セキュリティライセンス販売の強化

## BPO/サービス

- アンダース社による有料ECサイト立上
- 免税店システム受注先の開拓
- 商工会議所向け検定受付代行システムの再構築による新規取扱い会議所の開拓
- 決済サービスを活用した新たな受注先の開拓





## ■ 事業進捗状況

先進的マーケティングソリューションカンパニーの実現に向けて事業を推進

### ◎ IT支援サービスの推進

- ・ 大型案件を含む大企業からのシステム設計開発案件の受注確保

### ◎ 株式会社北栄への新規事業等支援活動

- ・ 那覇空港第2滑走路増設工事への海砂供給は本年5月から開始、船舶増設により飛躍的な業績向上が見込まれる
- ・ 懸案であった、新規事業構築に向けての支援活動を本格化させる

### ◎ 自社プロダクトサービスの促進

- ・ スマートフォン、タブレットおよびデジタルサイネージなどの特徴を活かした観光情報発信ソリューション『Easy Navi』の拡充
- ・ 段ボールメーカー向け基幹システム『i-case（アイケース）』の機能向上

### ◎ サービス・BPOの拡大

- ・ 有料会員組織化に向けた施策推進
- ・ 免税店システムの事業化と受注先獲得活動
- ・ 商工会議所が主催する各種検定試験の業務受託システムの再構築と拡販

## ■ 企業提携

### ◎ ハミングヘッズ社との提携強化

- ・新開発されたコンピュータウィルス対策ソフトの拡販分野において両者の強みを活かした提携を強化

### ◎ 子会社アンダースが昭文社との提携で有料のECサイトを開設

- ・料飲食店データベースを保有する昭文社と提携し、同社が保有するデータベースを活用し、中高年齢層に特化した会員組織化を6月から開始予定

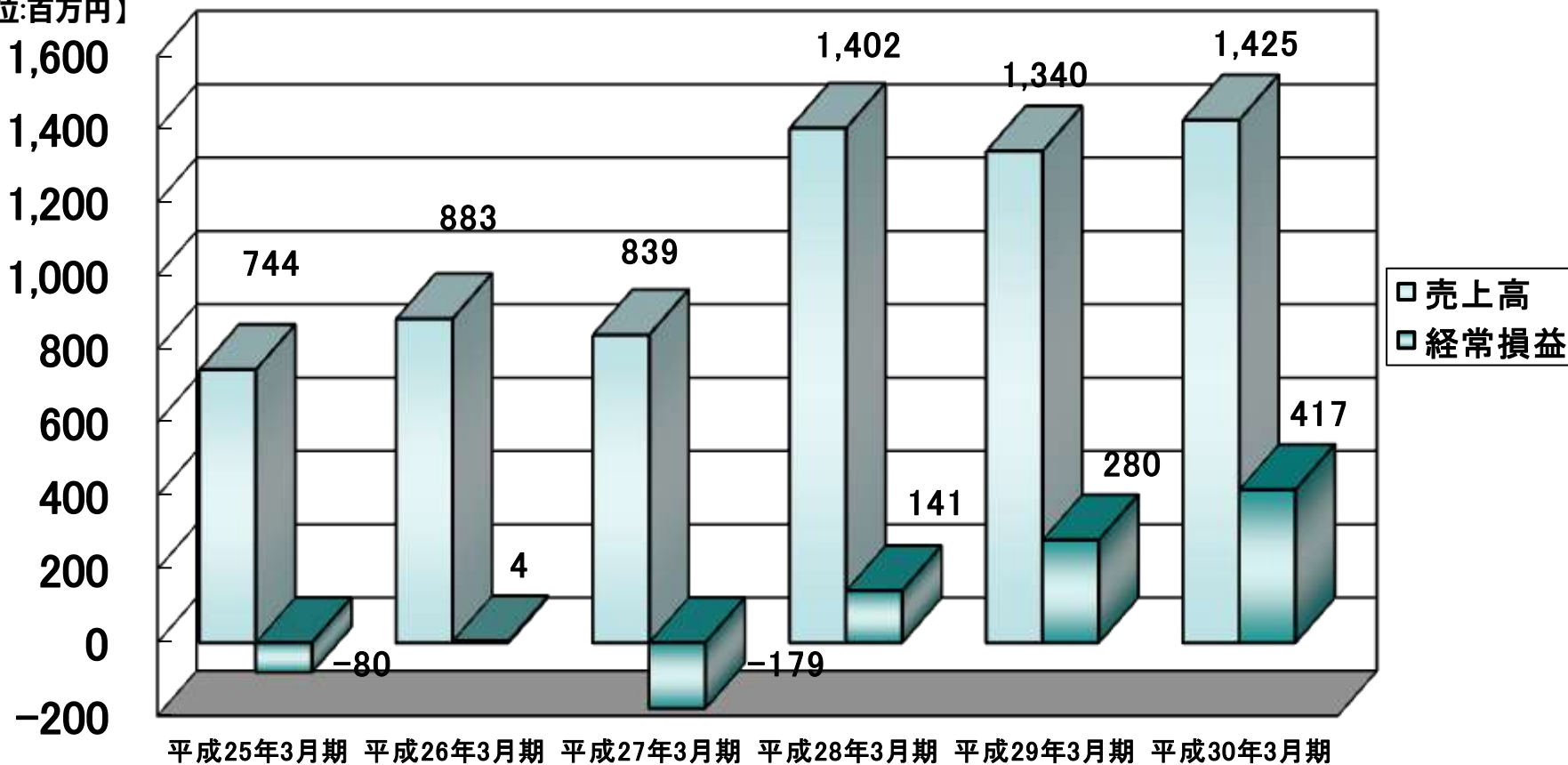
## ■ グループ経営インフラの強化を目的とした組織の見直し

売上原価の適正化、販売管理費の削減に向けて、独立採算体制強化に向けた組織の見直しを実施

# 3か年計数計画

- 平成27年3月期 売上高 839百万円、経常利益 △179百万円
- 平成28年3月期 売上高1,402百万円、経常利益 141百万円
- 平成29年3月期 売上高1,340百万円、経常利益 280百万円
- 平成30年3月期 売上高1,425百万円、経常利益 417百万円

【単位:百万円】



本日は、ありがとうございました。

## <お問い合わせ先>

担当窓口： イメージ情報開発株式会社

取締役経営管理室長 佐藤 将夫

TEL : 03 - 5217 - 7811

FAX : 03 - 5217 - 7816

URL : <http://www.image-inf.co.jp/>

本資料には、将来にわたる見通しに関する記述が含まれております。これらは現時点での予測であり、実際の業績は、今後の経済動向やその他の社会・政治情勢など様々なリスクや不確定要素により、見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。